



地域と共に

大分県立玖珠美山高等学校 農場だより 7月号



6月美山マルシェ:毎回、長い行列ができます。毎回、大盛況!

玖珠町清田川地区レンゲツツジ再生に向けた取組

レンゲツツジ

玖珠町清田川地区のレンゲツツジ群落は大分県レッドデータブックで、絶滅危惧IB類に指定されています。本校では、平成22年(当時玖珠農業高校)から、玖珠町教育委員会と合同で調査を開始しました。その後、8年が経過しましたが、毎年、個体数が減少しているのが現状です。今年度より、状況の把握のため、本校が開発したGPSを使った個体数のデータベース化を進めています。7月9日には、樹木医を招いて土壌調査や再生に向けての話し合いをしました。平成31年には県文化財保護課の許可を得て保護地域内から採取した種子を発芽させ、植え戻しを行う計画にしています。



保護地域で調査活動を行うチームフラワーズ

農ク九州大会に向けて

8月8～10日までの3日間、宮崎県宮崎市を会場に第61回九州学校農業クラブ連盟発表大会(意見発表、プロジェクト発表)が開催されます。この大会は、九州8県の大会を勝ち抜いた代表が一同に集まり日頃の学習成果を競う大会です。本校より、プロジェクト発表に、チーム野菜、チームフラワーズが出場します。

I 類(生産・流通・経営)

「パークを中心とした循環型農業の展開
校内から地域へ Part V」
～パークマットの地域への普及、そして企業化へ～
3年 松木留里 梅木涼輔 清鶴智子 曾我部優
篠原龍成 徳永和真 藤原立乃翼

II 類(開発・保全・創造)

「甞れ!レンゲツツジの郷」Chapter IV
～群落再生へ向けた取)り組みについて～
3年 岩田龍聖 松木良佑 市川周史 友石裕人
藤野巧大
2年 澁谷 陵人 長野智也 半田 雅幸

農ク農業鑑定競技県大会

7月27日三重総合高校久住分校を会場に農業クラブ農業鑑定競技大分県大会が開催されます。本校から、「園芸」、「食品」、「畜産」の3部門の生徒が出場します。生徒たちは、これに向けて一生けんめい頑張っています。

パークマット栽培好調!

今年も、2戸の農家でパークマットによるトマト栽培の実証実験を行っています。学校でも、トマトの品種別試験を行っています。現在、普及に向けた栽培マニュアルを作成しています。

今、農場では

畜産: 県和牛共進会、農業クラブ家畜審査競技に向けて頑張っています。

草花: この暑さですがシクラメンが、しっかりと育っています。鉢上げも終了!

食製: 新商品 クルミパンが大人気!

野菜: 夏野菜の収穫が最盛期!